

広報のあり方に関する調査研究報告会

～次世代に届く土木広報～



本小委員会は土木広報の在り方を調べる目的で2020年9月に設立されました。委員は土木の学識者、専門家に加え、コミュニケーション分野で活躍する情報共有の経験者を募り、土木広報の問題点、あるべき姿について議論を繰り返してきました。土木業界の抱える大きな問題は若者の土木離れです。その大きな原因は土木の面白い中身が土木専門家だけに秘匿され、若者や一般の人たちに伝わっていないことと考えました。このような危機的状況を脱するために、土木の面白さを社会と共有する行為＝広報をどう活用できるかを真剣に議論してきました。

土木広報の大きな問題点は、例えば研究論文を映画館で配布するような、伝えるべき相手（ターゲット）が定まっておらず、その結果として戦略が欠如しているという点です。世の中ではインターネット、SNSなどの利用も広がり、これまでとは違った広報手法が利用されはじめており、大きな効果が上がっている分野もあります。小委員会では広報の戦略、手法を調べるとともに、広報の成功事例も調べ報告書にまとめました。報告書は会場にて無料で配布予定です。

報告会前半は土木広報のあり方に対する我々小委員会からの報告（反省と展望）、後半は、次世代を担う若者たちが土木に目を向けるために広報に何ができるのか（広報による社会変革）、についての討議に時間を割きたいと考えています。是非とも参加いただき、討議にご参加いただき、新たな魅力ある土木の創造にお力をご提供ください。

- ・主 催：土木学会（担当：鋼構造委員会）
- ・日 時：2024年2月2日（金） 14：00～17：00
- ・開催形式
 - (1) 土木学会講堂（〒160-0004 東京都新宿区四谷一丁目外濠公園内）
 - (2) オンライン（ZOOM ウェビナーによるライブ配信）※土木学会講堂での聴講のほか、オンラインでの聴講も可能です。いずれかの方法を選択してお申し込みください。
- ・定 員
 - (1) 土木学会講堂（申込先着順で50名まで）
 - (2) オンライン（申込先着順で300名まで）
- ・参加費：無料
- ・申込締切日：2024年1月31日（水）

・参加申込

参加をご希望される方は、以下のサイトからお申込みください。

【会場参加】 <https://www.jsce.or.jp/events/form/252307>

【オンライン参加】 <https://www.jsce.or.jp/events/form/2523071>

※会場参加とオンライン参加で申込区分が分かれておりますのでご注意ください。

※オンライン参加の方の視聴用の URL 等は、ご登録いただきましたメールアドレス宛に開催日前日を目処にメールにて連絡予定です。

<お問合せ先>

研究事業課 鋼構造委員会担当事務局宛

メール：momoi_“at”_jsce.or.jp “at” を@に変更してメールして下さい。

・詳細（プログラム）

14:00 開会

14:00－15:20 小委員会活動報告 (司会：秋元 礼子)

- 1) 土木広報の役割と問題点（第1, 2章） …………… 委員長 小西 拓洋
- 2) 広報戦略事例（第3章） …………… 平原 由三枝
- 3) 情報の選択（第4章） …………… 川村 真季
- 4) 広報の手法（第5章） …………… 佐々木 栄一
- 5) 次代の担い手に向けた広報戦略（第6章） ……… 関 文夫

15:20－15:30 休憩

15:30－17:00 パネルディスカッション (司会：関 文夫)

『次世代に届く土木広報とは』

17:00 閉会

*本報告会は CPD 認定プログラムです（申請中）